

令和8年度「カリキュラム・マネジメントの充実に向けたモデル開発」研究協力校 年間実施計画

1. モデル開発計画（目安）探究のスパイラルは計4回（前期に縦割り探究学習2回⇒後期に個別の探究学習2回）

- ・小学校 テーマ探究 30 コマ マイ探究 30 コマ 30 コマ×45 分＝最大 1350 分（一週間の余白最大 140 分）前期(後期)18 週に授業時数 1350 分を割振る
- ・中学校 テーマ探究 30 コマ マイ探究 30 コマ 30 コマ×50 分＝最大 1500 分（一週間の余白最大 140 分）前期(後期)18 週に授業時数 1500 分を割振る
- ・教員研修は、前期 15 回、後期 15 回を実施。 ※探究学習は、小学校は令和7年8月26日から、中学校は令和8年1月9日から開始済み。

2. 年間実施計画 探究のスパイラル：①課題の設定⇒②情報の収集⇒③整理・分析⇒④まとめ・表現⇒①⇒②⇒③⇒④

R8年度		小学校			中学校		
月	週	協働的探究学習	探究学習のねらい	教員研修	協働的探究学習	探究学習のねらい	教員研修
4月	3	①→② 探究1回目	【テーマ探究】 生活体験、他者参照、社会や地域とのつながり等から深い学びにつなげる。 【マイ探究】 異学年集団が興味・関心に応じた学び方・情報活用能力の向上につなげる。	3	①→② 探究1回目	【テーマ探究】 生活体験、他者参照、社会や地域とのつながり等から深い学びにつなげる。 【マイ探究】 異学年集団が興味・関心に応じた学び方・情報活用能力の向上につなげる。	3
5月	3	②→③		3	②→③		3
6月	4	④→① 探究2回目		4	④→① 探究2回目		4
7月	3	②→③		2	②→③		2
8月	1	③		0	③		0
9月	4	④→①		3	④→①		3
前期	18	30 コマ最大 1350 分	個別の探究学習	15 コマ	30 コマ最大 1500 分	個別の探究学習	15 コマ
10月	3		①→②探究1回目	3		①→②探究1回目	3
11月	4		②→③	3		②→③	3
12月	3		④→①探究2回目	2		④→①探究2回目	2
1月	3		②→③	3		②→③	3
2月	3		③→④	3		③→④	3
3月	2		④→①	1		④→①	1
後期	18		30 コマ最 1350 大分			15 コマ	30 コマ最大 1500 分

3. 評価基準（ループリック）

評価	縦割り探究学習 評価基準例
A	必要な情報を多様な方法で収集し、整理・分析して新しい視点を示している。他者の意見を取り入れながら自分の考えを発展させている。
B	情報を収集し整理しているが、分析や考察を述べている。協働的な活動に参加し、意見交換をしている。発表やレポートは概ねわかりやすい。
C	課題への関心が弱く取り組みが消極的。情報収集や整理が不十分で考察が浅い。協働的な活動での発言や貢献が少ない。根拠が示されていない。